

高齢者施設における 看取りの実態調査を行っての考察

幡手晶子¹⁾ 後藤由佳²⁾ 又木真由美²⁾ 相馬宏敏¹⁾

(¹⁾日南保健所 (²⁾小林保健所)

「いのちに寄り添う研修会」

1. 目的

- ・誰もが希望する場所で穏やかに最期を迎えられるよう、施設職員が看取りについての理解を深めると共に、入所者や家族から看取りの希望があった際に適切に対応できる体制を支援するため

2. 開催回数及び参加状況

- ・全8回開催(H27.2～H29. 3)、1回あたり約50人前後参加

3. 研修内容

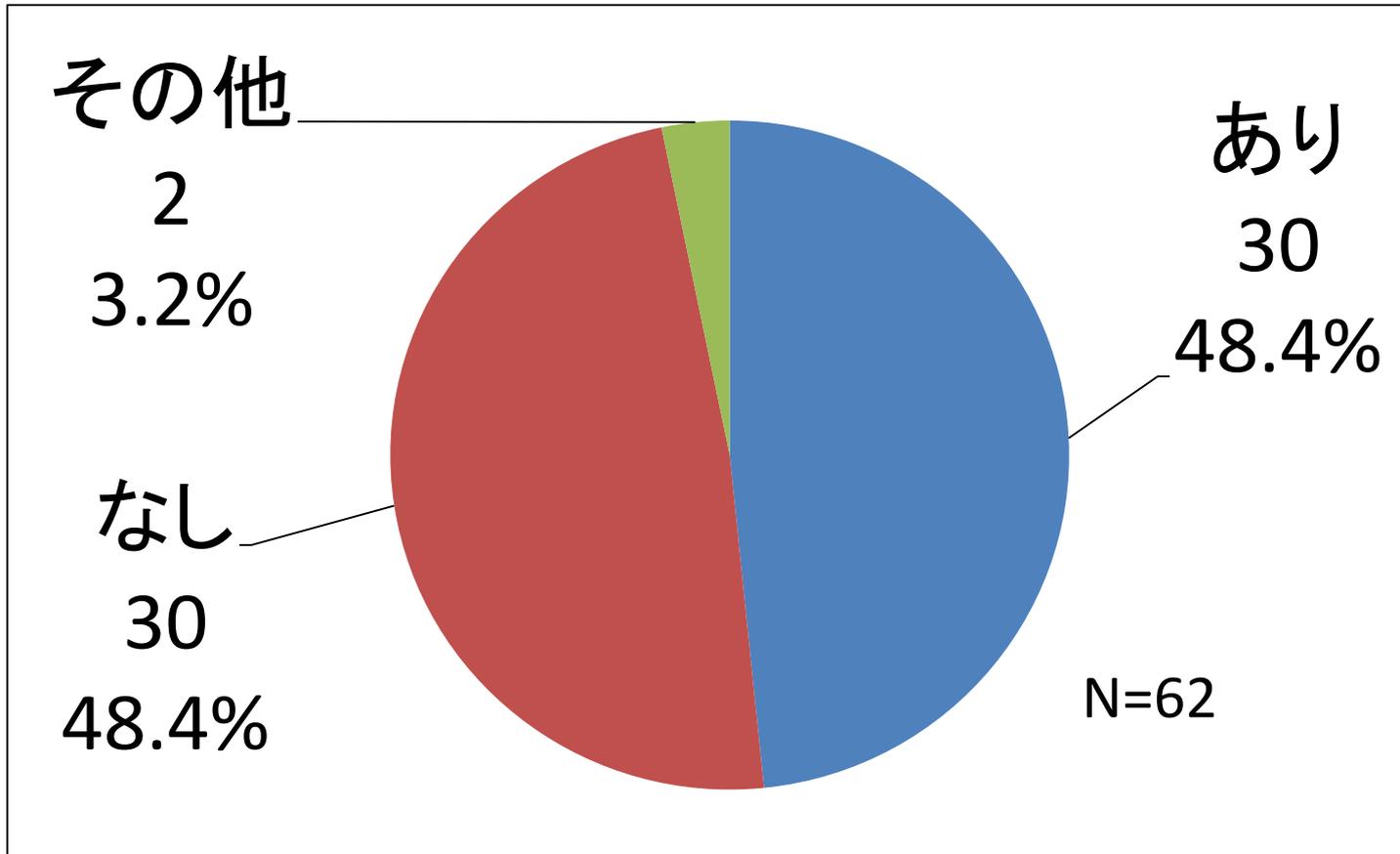
- ・有識者による講演
- ・事例検討 等

アンケート調査概要

目的	高齢者施設での看取りの現状把握と課題抽出
対象及び 回収率	看取りをする可能性のある管内高齢者施設 63施設中62施設が回答 →回収率98.4%
アンケート 集計期間	平成28年12月16日～平成29年1月26日
アンケート 発送方法	郵送
アンケート 回収方法	FAX

アンケート結果

看取り実施の有無



施設形態別看取り実施数

	回答 (施設数)	看取り実施 (施設数)	看取り実施率 (%)
有料老人ホーム	30	16	53.3
サ高住 (※1)	2	1	50.0
軽費老人ホーム	2	0	0
グループホーム	8	4	50.0
特別養護老人ホーム	5	3	60.0
特別養護老人ホーム	8	5	62.5
小規模多機能 (※2)	2	1	50.0
養護老人ホーム	5	0	0
全体	62	30	48.4

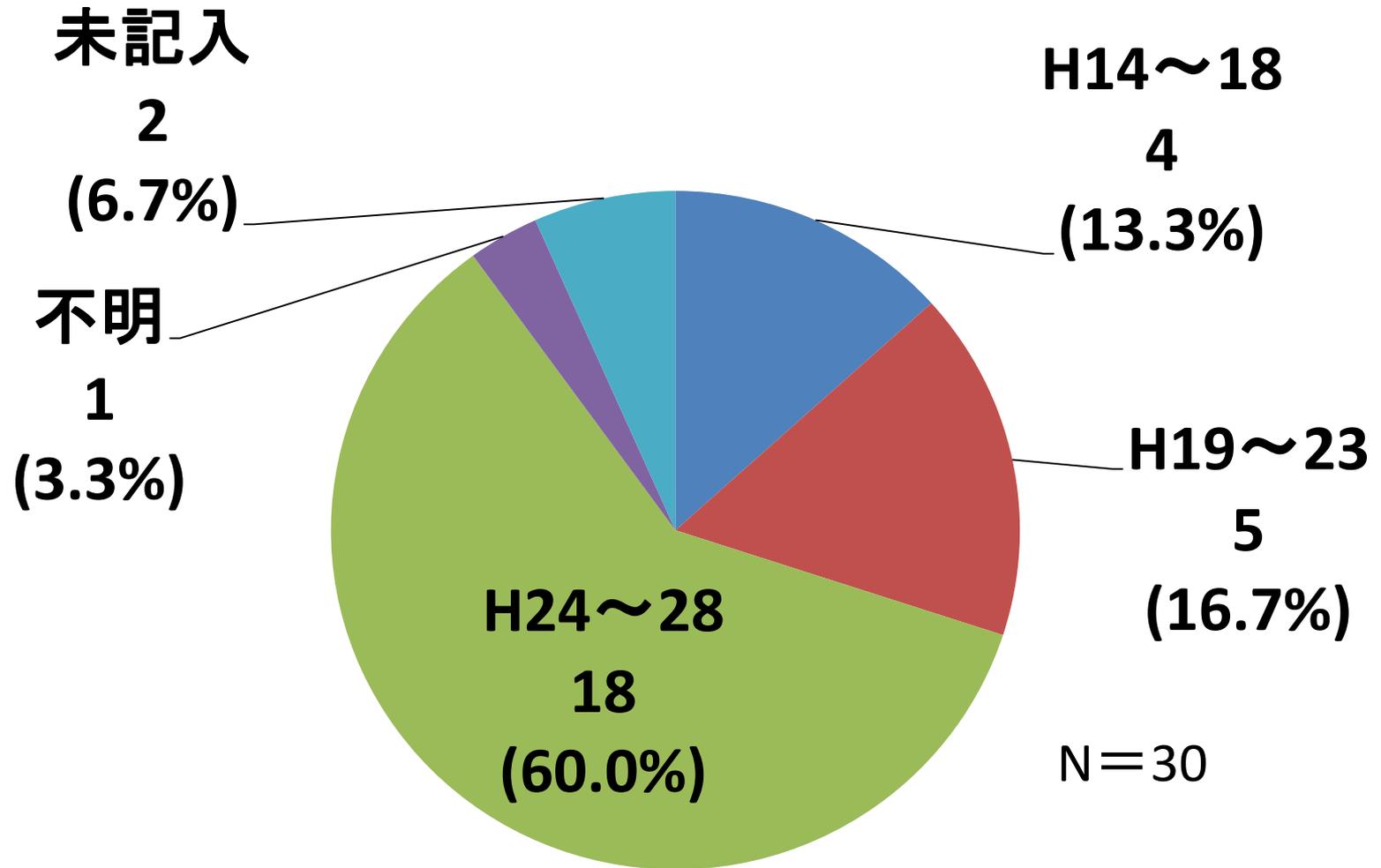
※1 サービス付き高齢者向け住宅

※2 小規模多機能型居介護支援事業所

①看取りを実施している施設 にとつたアンケート

(30施設)

施設で看取りを開始した年



→管内の高齢者施設の多くは看取りを近年開始

施設の看取り希望者数(総数)

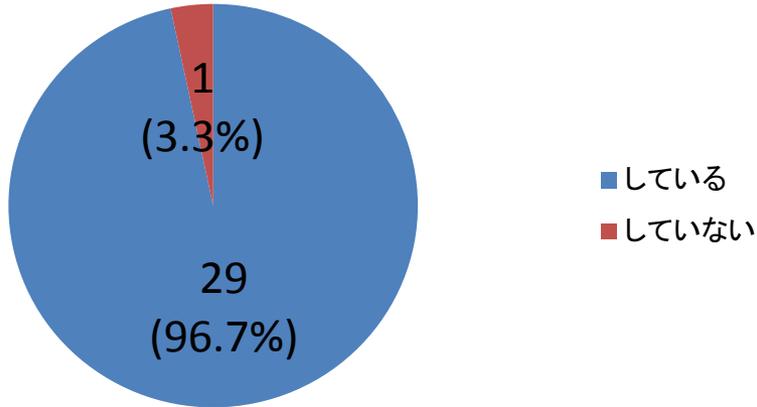
	看取り実施 (施設数)	入居者数 (人)	看取り 希望者数 (人)	看取り 希望者割合 (%)
有料老人ホーム	16	295	26	8.8
サ高住(※1)	1	23	2	8.7
グループホーム	4	63	30	47.6
介護老人保健施設	3	154	31	20.1
特別養護老人ホーム	5	320	23	7.2
小規模多機能(※2)	1	23	0	0
全体	30	878	112	12.8

※1 サービス付き高齢者向け住宅

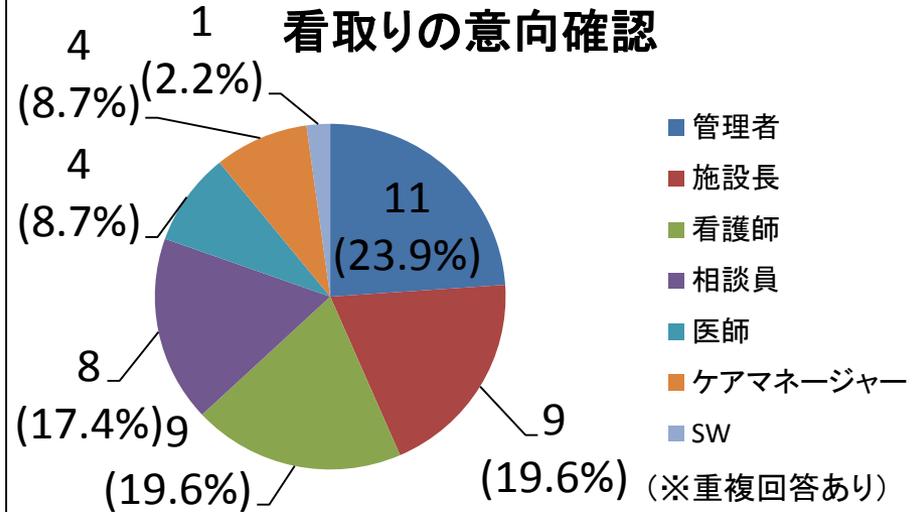
※2 小規模多機能型居介護支援事業所

看取りの意向の確認

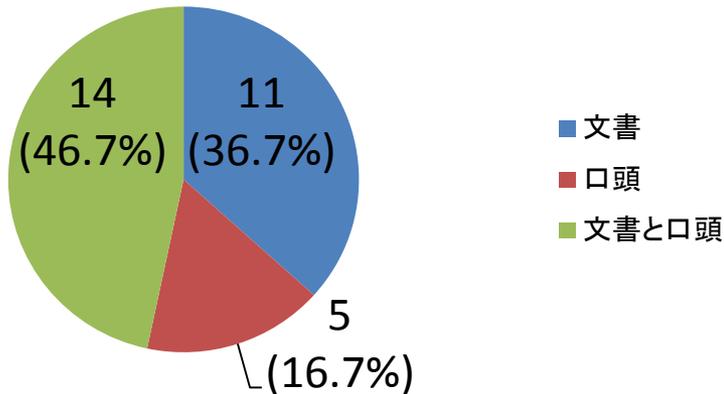
看取りの意向の確認の実施の有無



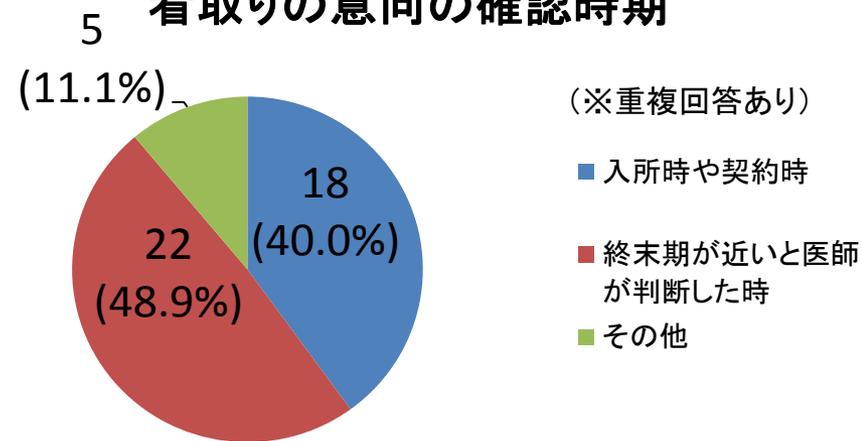
看取りの意向確認



看取りの意向確認方法

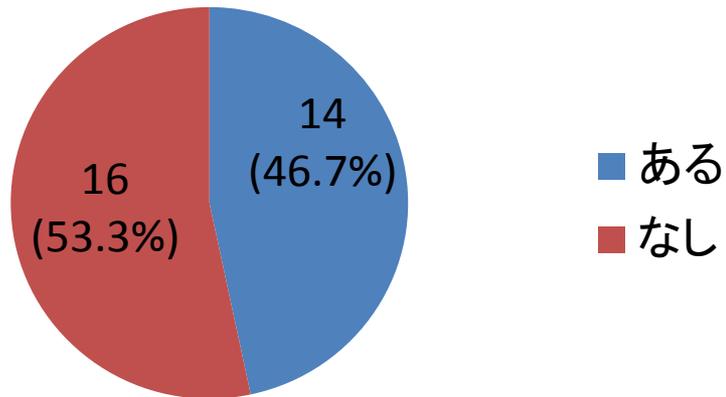


看取りの意向の確認時期

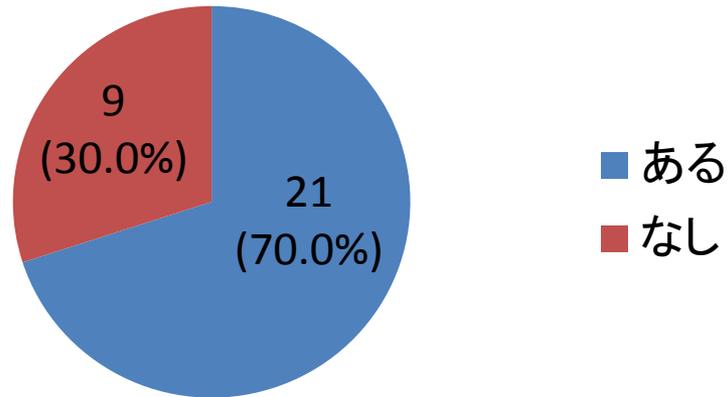


看取りの環境

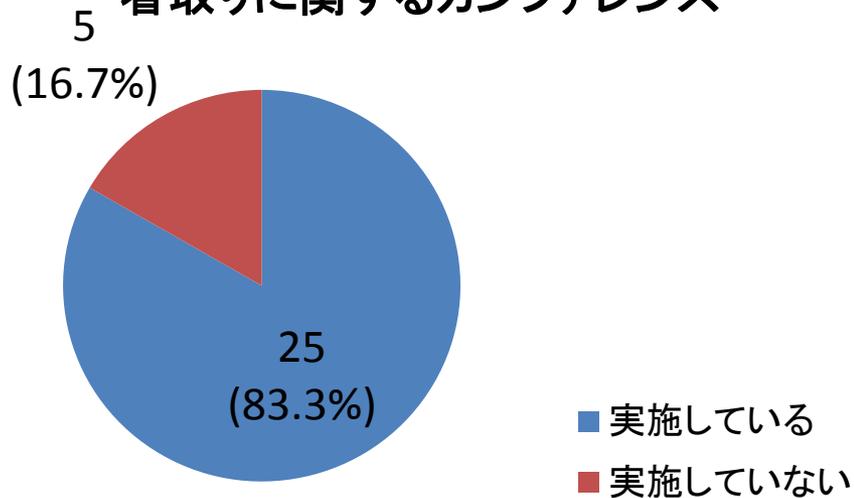
看取りのための個室



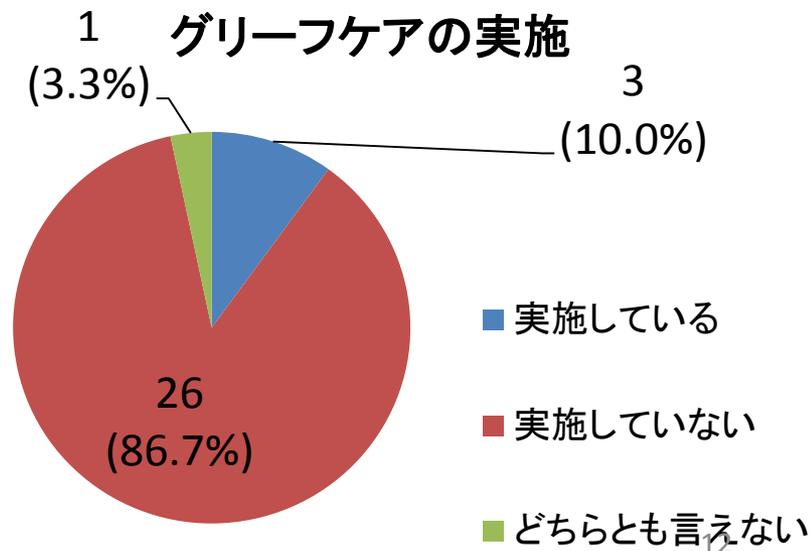
看取りに関する指針(マニュアル)



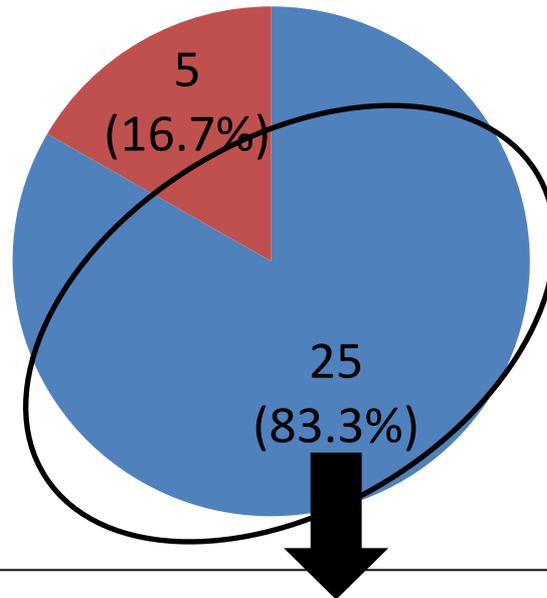
看取りに関するカンファレンス



グリーフケアの実施



24時間指示をもらえる医師の有無



管内15医療機関

■ いる
■ いない

25施設中7施設(28%)が困っている事があると回答

【困っている内容】

- ・土日祝日の医師不在時の対応
- ・土日祝日は依頼の当直医の先生となり、対応はしてもらえるが、とまどうことあり
- ・24時間指示をもらえる医師以外のかかりつけ医の場合、夜間の連絡が取れないため困る

H25～H27 死亡場所(総数) 内訳

	看取り実施 施設数	施設看取り希望者の死亡場所							
		施設			医療機関		自宅		
		人	人	%	人	%	人	%	
有料老人ホーム	16	72	50	69.4	20	27.8	2	2.8	
サ高住(※1)	1	0	0	0	0	0	0	0	
軽費老人ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	
グループホーム	4	12	3	25.0	9	75.0	0	0	
介護老人保健施設	3	34	34	100	0	0	0	0	
特別養護老人ホーム	5	51	43	84.3	7	13.7	1	2.0	
小規模多機能型(※2)	1	4	4	100	0	0	0	0	
養護	0	0	0	0	0	0	0	0	
全体	30	173	134	77.5	36	20.8	3	1.7	

※1 サービス付き高齢者向け住宅

※2 小規模多機能型居介護支援事業所

死亡場所が医療機関となった理由

	回答数	割合 (%)
急変時・状態悪化時の 医療機関搬送後、医療機関にて死亡	18	50.0
家族の希望	8	22.2
老衰	2	5.6
最終的な死亡確認のため	1	2.8
未記入	7	19.4
合計	36	100

②看取りを実施していない施設 にとつたアンケート

(30施設)

看取りを実施していない理由

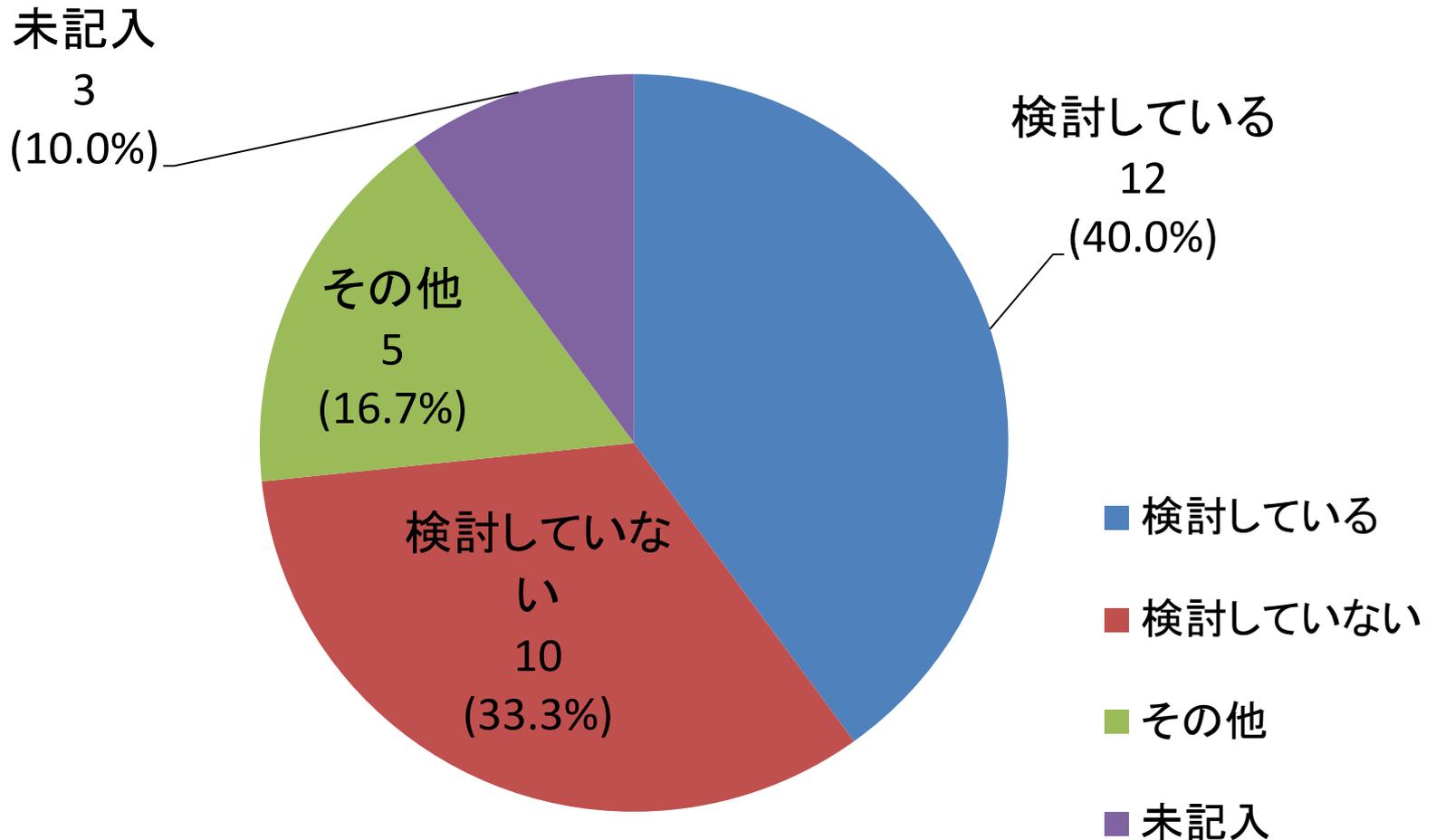
(※重複回答あり)

理由内訳	回答数
職員が終末期の対応・看取りへの不安があるから	15
施設の方針であるから	15
人材不足	12
終末期になると医療機関へ搬送することが決まっているから	11
スタッフの知識不足があるから	11
終末期は家族が病院への搬送を希望するから	10
終末期の患者がいることで多忙になり他の業務への支障が出て来るから	9
入所者の不安をあおるから	8
マニュアルがないから	7
施設で死者を出すという外部のマイナスイメージに繋がるから	6
その他	10

職員の終末期・看取りに対する不安

不安材料	回答数
夜間など、看護師が常駐していない	11
かかりつけ医がすぐに来てくれるか心配	9
看取りの経験がない	9
家族とのコミュニケーションの取り方が分からない	2
その他	2
亡くなっていく人を見るのが怖い	1

看取りの実施への検討の有無



看取りに関する勉強会

- 施設で「看取りに関する勉強会」を実施している施設の割合

看取りの実施がある施設	22/30(73.3%)
看取りの実施がない施設	8/30(26.7%)

- 他機関主催の「看取りに関する勉強会」へ職員の参加を推奨している施設の割合

看取りの実施がある施設	21/30(70.0%)
看取りの実施がない施設	11/30(36.7%)

自由記載欄(※一部抜粋)

○看取り実施している施設

- ・看取りは特別なことではなく、普通の生の延長である。
- ・現体制をもっと強化し、安心して看取りができる場所として認識してもらえるように努力する必要がある。
- ・看取りをした際に、かかりつけ医、訪問看護ステーションの方々との連携があり、スタッフも慌てることなく対応できた。
- ・最後まで責任をもつという信念のある事業所が一つずつでも増えていくことを願うばかりです。

○看取り実施していない施設

- ・将来看取りは必要。職員と共に向き合い、話をしたいと思う。
- ・家族の意向が変わり、少しでも苦しみを楽にさせたいため病院に搬送するケースが多い。
- ・本人・家族が施設看取りを希望するのであれば、関わり方をしっかり学習する必要がある。
- ・看護・介護・家族が連携すれば、そう難しいことでは無いと思う。

看取りを実施している施設に対する考察

・施設での看取りを希望する入居者は12.8%と少ない。

→予想される理由:

①「入居者側の理由」

②「施設職員側の理由」



アプローチ必要

・施設での看取りを希望していた方が医療機関で亡くなった理由の7割が「急変時や状態悪化時」、「家族の意向の変化」である。このような事態が生じた時に対応できる様な支援が必要

→施設職員に対する研修会開催

(事例検討、上記事態が生じた時のモデルケース提示)

看取りを実施していない施設に対する考察

・看取りを実施している施設と比べると、施設での勉強会の開催率や他機関の開催する勉強会へ参加率は少ない。

→課題：看取りを実施していない施設の参加の促し

・看取りを実施していない理由の一つである「職員の看取りへの不安」の内訳として、「夜間など、看護師が常駐していない」「職員の看取りの経験の無さ」がある。

→看取り経験の無い、又は経験の浅い介護職等が理解できるような分かりやすい対応方法の提示



ご清聴ありがとうございました。

